

□議員名：矢田松夫

1 新山陽総合事務所について

論点	新山陽総合事務所にサイレン吹鳴を復活すべきではないか。
回答	現段階では、サイレン吹鳴の予定をしていない。今後、必要とあれば協議を進める。

論点	氾濫災害を伝達する屋外スピーカーが、3ヶ所設置されているが、音量が届かない厚狭川東地区にも設置すべきではないか。
回答	厚狭川に近い箇所に設置したい思いはある。非常事態を速やかに伝える設備については、どの範囲の設備の整備が必要か検討の余地があり前向きに検討をして行く。

論点	コミュニティ体育館の空調設備については、早急に設置すべきではないか。
回答	当面は設置しない。窓の開閉で事足りる。

論点	空調設備を設置しない理由は「財源」の問題か。
回答	財源と言う事が、一番大きな問題である。扇風機1台のない教室があり、そちらを優先する。完成後、状況を見て種々検討をする。

2 観光事業の強化について

論点	新「観光課」設置後の事業展開はどうであったか。
回答	観光課職員一丸となって取り組んで来たが、観光ビジョンの計画的な実施、遂行が課題として残った。

論点	観光課の下請けとなっている観光協会を分離・独立せよ。
回答	協会の分離独立は望ましいが、財政力、人的支援面を含め、他団体の事務局を持っている他団体の事も考慮し、検討をする。